

# ももさと 通信

2025年  
9月16日  
第14号

〈発行〉社会福祉法人桃郷 〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月58番地3 TEL 0736-66-8851 FAX 0736-67-8851



## すべての子どもに豊かな育ちを

URL <https://www.momosato.com>  
E-mail [mososato@galaxy.ocn.ne.jp](mailto:mososato@galaxy.ocn.ne.jp)



### ひまわり園の自慢のかかし3体

ひまわり園の5歳児11名が親子で作った3体です。「かかし」って皆知ってるかな？：畑に「かかし」立ててみたい！お母さんも一緒に楽しめたら嬉しいな!!職員の願いは膨らみます。図書館で借りてきたかかしの絵本を見ながら、5歳口ケットグループ園児の皆に提案して一緒に盛り上がります。親子保育の日、お父さんお母さんと一緒に「かかし」スタイルを選んで取り掛かります。小さな室内に飾る壁掛けのようなものかと思ったら、藁を詰めて本物等身大の「かかし」体操服の子・学生服の子・カジュアルスタイルの子、親子でベタベタ素敵に変身させて、顔を描きました。お父さんが軸を組み立ててくれ、藁をいっぱい詰めました。カジュアルスタイルの子はムキムキマツチョになって大笑い。名前は「ふあり」ちゃん。ハウルの動く城のカブに似た子は「ソルト」くん、体操服の子は「かかし」くんです。親子で苦戦しながら、皆もペンキで色づきながら完成。「やった!できた!!」の気持ちで園に溢れます。5歳児さん親子と職員は、みんなの笑顔に出会えて素敵な瞬間です。さて、お休みしていた子が1名いました。役割を残してお願ひし、全員で畑にかかしを立てて行きました。「僕たちの畑を守ってね」の願ひを込めました。そして畑は、5歳児さんたちが選んで植えた夏野菜を育てています。水やりして、成長を楽しみに発見もできます。「本物体験をする」皆で「あー楽しかった!」「もっとできたい」を実践しています。保育年数が積み重なるにつれて、生活する力を個々のペースで獲得してきています。個性豊かな子どもたち、しっかりと楽しんでこの子どもたちとイメージを共有して一緒に遊ぶ喜びを持たせてあげたいという保育者の願ひが詰まった活動となりました。

子どもたちの「できたい」気持ち膨らませ、親子の素敵な経験にできたらいいなあ。

今回のかかし作りのように、桃郷では、豊かな発達のために豊かな経験を工夫し、本物に触れ、心を揺さぶり、「あー楽しかった」「もっとできたい」を重ねています。地域の方々とも一緒に楽しむ行事に取り組んで「ひとりひとりが主人公!」です。自信满满に、キラキラした「ひまわりっ子」の姿を皆さんとともに見守っていきたい。と取り組んでいます。毎日、わくわくでいっぱい。ひまわり園は、今年も子ども達、保護者の皆さん、地域の方々の方々の笑顔があふれ、そして職員も笑顔にさせていただけの園になるように力を合わせていきますので、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

採用1年目の職員を対象に新人研修を行いました。  
 船木常務理事の研修では、法人設立当時の保護者の願いや、運営していく中で常務理事自身の経験や大切にしてきたことを語っていただきました。  
 数本統括部長兼事務局からは虐待・ハラスメント防止研修を行い、利用者の権利や、よりよい職場作りについて学びました。  
 山本相談部長からは、桃郷の実践で大事にしてきた「発達保障」について研修を行いました。  
 実践の中で子ども一人ひとりのねがいを深くとらえるため、行動の背景にある意味を考える視点を持つことを学びました。  
 研修終了後、入職2年目の職員も加わり、研修の感想や桃郷に入職した思い、仕事の中での様々な事などを語っていただく座談会を実施しました！

## 新人研修&座談会

- 司会：山本 翔太（相談部長）  
 助言者：船木 栄子（法人常務理事）  
 数本 幸男（統括部長兼事務局長）  
 参加者：増井 美帆（つくしんぼ園 保育士1年目）  
 川崎 楓和（つくしんぼ園 保育士1年目）  
 畦倉 寧子（つばみ園 児童指導員1年目）  
 渡邊 雄介（法人事務局 事務員1年目）  
 宮本 加奈（ひまわり園 保育士2年目）  
 阿弥心太郎（ひまわり園 保育士2年目）  
 畔取 有寿（法人事務局 事務員2年目）

**山本**：新人研修お疲れ様でした。さつそく、2025年度入職の方からお話を聞きたいと思います。  
 新人職員研修で学んだことや、もっと学んでみたいと思ったことは何ですか？  
**渡邊**：船木常務理事の話で法人立ち上げの思い、エピソードを聞いて当時の関係者の方々の熱意を感じることが出来ました。関係者の方々の熱意や、当時の保護者の願いで出来た桃郷にふさわしい一員になるぞ！と強く思いました。その後の講義では、子ども一人ひとりの行動の背景を考える大切さを学ぶことができました。  
**増井**：桃郷の歴史を学び、法人が大切にできた「軸」となる考えを学ぶことができてきました。子どもの行動の背景を考えて、受け止めて共感することが大事で、これからも大切にしていきたいと思えます。



山本翔太相談部長 研修風景

**川崎**：子どもの行動の背景を考えることを改めて学び、その子は「何がしたいのか・どんな思いなのか」を毎日少しずつ考えていきたいと思いました。  
**畦倉**：初めて保育の現場に立って子どものことに必死な毎日ですが、常務理事の保護者の気持ちや願いを聞き、改めて子どもだけではなく保護者にも寄り添う大切さに気づきました。虐待研修についても、テレビの中のニュースではなく、身近にあり得るもので改めて自分も気を付けていきたいと思いました。  
**山本**：いまの感想の中で、子どもだけでなく保護者との関わり大切さについて、気づきがあったと思います。実際に保護者の方々と関わりで大切にしていること、もしくは難しさを感じる事はありますか？  
**阿弥**：日常の子どもの様子や、その日あったことの話は保護者と出来ているかなと思っていました。しかし、突然子どものことで質問を受けたとき、うまく応対できず戸惑うことがあります。  
**宮本**：どうしても伝えたいことがあるか伝わりにくいこともあるのかなと思います。そのため、子どもの可愛い姿や素敵な出来事など普段の会話を通して信用・信頼して頂ける保育士である必要があるなと思っています。  
**川崎**：子どもの悩みをオープンにしていく保護者の方と、あまり積極的には話したくない保護者の方もいらっしゃ

ると思います。それぞれの保護者によって、どのように関係をつくっていくか、まだ難しいなと感じています。  
**増井**：保育士として保護者に伝えたいいけない部分と、保護者の方から見える子どもの姿のすり合わせが難しいなと思っています。  
**畦倉**：保護者から相談を受けて、入職したての私が答えてもいいものかと躊躇する場面があります。  
**山本**：みなさん難しさを感じつつも、保護者との関わり大切さを実感していて、この研修の中でも大切なところに目をつけられているなと思いました。  
**山本**：保育士の増井さん・川崎さんは実習等でこども園や幼稚園、保育園も経験した中で、また畦倉さん・渡邊さんは療育以外の福祉施設や一般の企業もあった中から、子どもの療育の分野に飛び込んでみようと思ったきっかけを教えてください。  
**増井**：こども園での就職も考えていましたが、子ども一人ひとりと丁寧に関わることが出来る療育の職場を選択しました。  
**川崎**：大学の授業で、障害のある子ども達の授業を受けて、その後選択授業でも子どもの発達を学んだことがきっかけです。  
**畦倉**：私は相談職をしたくて大学に進学しました。学びの中で相談職をするには「実践の経験が必要だ！」と感じました。就職活動の際には、高齢分野



若手職員座談会

や成人の障害分野などの福祉関係での就職も考えていました。実習で、小学生〜高校生の入所施設に行ったことがきっかけで「もっと小さい時はどんな支援をしていたんだろう」と学んでみたいと思って乳幼児の療育の職場を選びました。

**渡邊**：大学では簿記や会計について学びました。就職活動では会計事務所などの就職も考えましたが、より人の役に立てる実感を得ることが出来る職場を魅力に感じ、桃郷の事務職を選択しました。

.....

**山本**：就職しておよそ3ヶ月が経ちました。仕事の中でやりがいを感じる瞬間や嬉しかったエピソードを教えてください。

**畦倉**：初めて子どもたちの前で手遊びをした時に、はじめは中々盛り上がり

なかつたけれど、2〜3回目には一緒に楽しめた事がうれしかったです。クラスにいる子で、ご飯を食べたくない子が少しずつ給食を食べるようになった瞬間を見ることができ、同じグループの先生方と喜び合ったことが「この仕事に就職してよかった」と思いました。

**渡邊**：決算の作成や、通所給付費のデータを作る時に、ミスなく終わった瞬間がほっとして達成感を感じます。

**増井**：選択性緘黙のような傾向がある子どもとコミュニケーションを取ることがうれしかったです。他の子からも外遊びのあと「楽しかったね!」と言ってくれるのがうれしい瞬間です。

**川崎**：4月に入職したときには発語が難しかった子が、「トイレ!」と「バイバイ!」を言ってくれるのが嬉しかったです。

.....

**山本**：就職してみて思ったよりも難しかったこと・イメージと違ったことありますか?

**川崎**：切り替えが苦手な子の対応について、昨日は切り替えができた対応が、今日は違ったり。同じ対応をしても日によって子どもの反応が違うので難しいと感じています。

**増井**：偏食のある子どもで、日によって食べられる日があったり、なかったり。その時その時の柔軟な声かけが難しいです。

**渡邊**：簿記を勉強していましたが、実際の実務で、桃郷で導入しているソフト

トを使い、その操作に慣れることが最初は難しかったです。学生の頃に勉強した事をすぐに100%発揮することは難しかったなと思います。

**畦倉**：子どもへの注意の仕方が難しいです。ダメなことは「怒る」のではなく、「伝える」のだと教わったけど、中々伝わらなくて。試行錯誤中です。

**山本**：常務理事がよく職員におっしゃっています、「諭す」ことが大切という事だと思えます。経験のある職員は感情的に怒るのではなく、冷静に毅然とした態度を使い分けているから、子どもにも伝わっているのでは、うね。少し感覚的な話にもなるので、まだあまり実践経験が無い中では、その事が分かってくるまでが難しいところなんだろうなと思いました。

.....

**山本**：入職2年目の方々にお話を聞きたいと思えます。仕事の中で難しさを感じた事や、それを乗り越えて自分が成長できた!と思うことを教えてください。

**宮本**：以前はこども園で2年勤務しましたが、ひまわり園で働くようになり偏食のある子どもに関わることは初めての経験でした。食事を勧める事と無理強いをしないことの「引き際」が難しかったです。その子のことがわかってきたので、「ここまで声かけても大丈夫」、「この子は一回『イヤ!』って言いたいだけやな」など、その子の気持ちや分かってきたので、自分自身の成長かなと思います。

**山本**：地域のこども園と桃郷の児童発達支援センターで行事への取り組み方に違いはありますか?

**宮本**：こども園の行事は、最初に決めた内容で大きな変更なくやり切る印象があります。一方で、桃郷の行事は、一度決めても、練習の中で子どもの様子を見ながら途中でどんどん変更・修正があり、「最初に決めた内容はなんだったんだ!」と最初は困惑しました(笑)。でも子どもの姿を見ながら修正したからこそ、子ども達自身が楽しめる行事になったんだと感じました。そこが「桃郷ならではの行事」だと思います。

**畔取**：なにかも初めての経験ばかりでした。一年やってみて業務を「覚えたい!」と思っても制度の改正が度々あってついていくのに必死です。



船木常務理事 研修風景

阿弥：散歩で子どもの姿を見守ったり、声をかけたりと、関わり方の「ひもの長さ」を調整することが苦手でした。一緒に過ごすことで、その子のことが分かってきたので、「この子なら声かけで戻ってきてくれる」、「この子ならこれぐらい丁寧に声かけたほうが良い」などが少しずつ分かってきたと思います。

山本：子ども達の前に立つ時の恥ずかしさについて、昨年度少しおっしゃっていました。最近はどうですか？

阿弥：「恥ずかしさ・ドキドキ」は昨年よりましになったと思います！しかし、今でも始まる前はドキドキしています（笑）。終わったら安心感でほっとすると、子ども達の様子や反応を見て「やってよかった！」と思います。

山本：同期との繋がりはどうですか？また先輩の職員との繋がりが、大事にしたいことはありますか。

宮本：同期とは仲良しです♪  
阿弥：だそうです（笑）。宮本さんは「自分には）出来ない！出来ない！」といながら、色んな事を器用に出来るのがすごいなと思っています。先輩とは、もらった意見をまず一回やることを心掛けています。そして吸収して「自分なり」に繋げることを大事にしています。

山本：先ほど言ったように、同期と仲がいいけど、やっぱりライバルとしての意識もあります（笑）。先輩とは一緒に外食に行ったり、保育準備中にも

仕事以外の色んな話も聞いてもらったりしています。その時間があるから「明日も頑張ろう！」と思う活力になっています。

山本：趣味やマイブーム、リフレッシュのためにしていること、今後プライベートでやってみたいことがあれば教えてください！

川崎：アイドルが好きで、音楽を聴いたり、会いに行ける時は会いに行つて、幸せをわけてもらっています。

増井：わたしも推しを見て、音楽聞いたり幸せにひたっています。

渡邊：電子ピアノを買ったので練習したり、田舎に旅行に行くのが好きです。行先だけ決めてぶらぶらするのが好きです。

山本：最近はどこか行ったところや、これから行ってみたいところはありますか？

渡邊：最近伊勢の虎尾山に行きました。次は離島に行つてみたいなと思っています。

畦倉：休みは甥っ子に遊んでもらって癒されています。リフレッシュは甘いものを食べて自分を甘やかしています。今は麻雀を出来るようになりたいと思っています。

阿弥：バイクが好きで田舎道を走つて過ごしています。桃郷の職員さんにもバイクが好きな人がいるので一緒に行けたらなと思っています。

山本：リフレッシュのためにとにかく外出しています！ラーメンや焼き肉を



数本統括部長 研修風景

食べに行ったり、カフェに行ったり、雑貨巡りに行ったり…。今は旅行に行きたいと思っています。一昨年、金沢に一人旅に行きました。現地の人におすすめの場所を教えてください。話をしながら帰ってくるのが好きです。平日もドライブに行つたり散歩に行つたりしています。おすすめの旅行先があれば教えてください！

山本：今年全国の障害者問題研究会の開催地は広島なのでぜひ行ってみたいのですが、私も行ってみようかなと思っています。私もお酒が大好きです。あつて楽しみです。

山本：再び仕事の話に戻りますが、子どもの姿にほっこりするエピソードや心に残ったことはありますか？自分の

うっかりしたエピソードなどもあれば教えてください。

川崎：園の子どもが、「新しく来た先生にこにこして好きやねん」って家で私のことを話してくれているようで、お迎えの時に保護者の方から聞いた時はうれしかったです。

増井：手洗いの時に子どもが私に「ペーパータオルを渡してくれて。」「ありがとうっ!!」ってとても嬉しい気持ちになり、ほっこりしました。

畦倉：うっかりしたエピソードですが子どもに「おに!!」っていわれたので、すかさず鬼の真似をしてみたら泣かせてしまいました。ちよつと反省しています。

阿弥：休みを取つた次の日に出勤したとき、子ども達から（昨日は）「探してたよー!」と言って駆け寄ってきてくれるのが嬉しかったです。

山本：給食のときに苦手なものを食べられたら「美味しいね」って言って自分のほつぺたを触る仕事をしていたのですが、それを見た子ども達はその仕事をお互いでやっていたり、家庭で弟にもやってあげていたようで、ほっこりした気持ちになります。

山本：ご飯を食べて先生と触れ合う経験がとても嬉しかったんだとおもいます。そしてお友達や家族にも嬉しい気持ちを持てたい！と思つての行動だと思っています。とても素敵な経験をされていますね。

山本：実習に来る学生さんの中には療



若手職員座談会

育に興味があっても実際に療育施設で働くためには保育士+α何かの資格・スキルが必要ではないかと感じ、ハードルが高い印象を持つ方もいるそうです。就職前に持っていたイメージや、働いてみてからのイメージの違いを教えてください。

**阿弥：**集団の中に入ると気持ちの整理が難しい子がいて、色んな対応を試すものの、今も難しいな思っています。飛び込んでみたらいいと思います。私は実習で参加した行事が楽しかったことが就職するきっかけだったので、しんどいこともあるけど行事も楽しいこともあることも知ってもらえたらと思います。

**宮本：**就職活動の時になんとなくこども園に就職して、働いているうちに療育に興味を持ちました。周りの友人か

らは「めっちゃ勉強しやなあかんのちゃうん？」とよく聞かれます。〇〇療法とか覚えたり、OTがいてSTがいて……って難しそうに思われているけど、そこまでハードルは高くない保育だと思えます。もつと保育・療育を知ってもらえる機会が出来たらいいなと思っています。

**畦倉：**保育の経験がない私でもなんとかやっていけてます。ちよつとでも触れてもらえたらと思っています。「得意なこと・出来ること」を活かして、苦手なことは支えあって協力してやる職場だと思っています。

**増井：**得意な事は率先して苦手なことは助け合って……それぞれの「得意」を發揮できる職場だと思っています。

**川崎：**「療育」と聞くと難しく暗いイメージがありました。実際に就職してみると、こども園と保育の内容も変わらなかったと思います。療育だから特別ではなくて、子どもと触れ合っただけから学ぶこと、先輩から学ぶ事が多く、子ども一人ひとりと深く関わることが出来る園だと思っています。

**山本：**今日の研修や入職してからの経験を通して、5年後10年後どんな職員になっていきたいか。夢・理想を教えてください。

**川崎：**子どもから「一緒に遊んで楽しい！この先生好きだから園に行きたい！」と思ってもらえる保育士になりたいです。保護者の方や先輩からも小さいことでも気軽に相談してもらえ

ようになりたい。

**増井：**子どもの安心できる環境をつくりたいと思っています。今は先輩の先生方にたくさん教わったことを先輩にも伝えていけるように力をつけていきたいと思っています。

**渡邊：**出来る事を増やしていきたいと思っています。事務局の中だけでなく事業所からも頼られる存在になりたいと思っています。

**畦倉：**楽しんで仕事が出来ていたらいいなと思っています。子どもとも遊びや製作を楽しく過ごせるようになりたいです。子どもから様々な事を教わっているところです。

**畔取：**自分の仕事を今以上にミスなくできるようにしていきたいと思っています。分からないことや悩みなども事業所の皆さんから「畔取に相談してみよう」と思ってもらえるような頼られる職員でありたいです。

**宮本：**「あの先生についていたら面白いことあるぞ！」と思ってもらえる保育士になりたいです。また保護者の方から家の様子や心配事、雑談も気軽に話してもらえ先生になりたいです。後輩からも気軽に相談してみようかなと思ってもらえる先輩でいたいです。

**阿弥：**どんな人からも気さくに話しかけてもらえる職員でありたいです。職員同士でも気軽に話せるような雰囲気を出せるようになり、先輩方から行事等のアイデアを吸収して、その中に自分のアイデアや新しい事を盛り込んでいけるようになりたいと思っています。

**山本：**最後に数本事務局長と船木常務理事から本日の感想メッセージをお願いします。

**数本：**本日は一日お疲れ様でした。ここ数年、職員の離職を減らし、定着してもらったことが桃郷の課題でした。若手層が繋がりが支えあいながら、また今後入職してくる若い層とまた繋がって……というサイクルが出来て、強い集団になればいいなと思っています。今後も引き続き一緒に頑張っていきたいと思しますので、何かあればいつでも相談してください。

**船木：**一日お疲れ様でした。私は桃郷の職場はいい職場だと思っています。

1つは「子どもの心に寄り添う・保護者の心に寄り添う・相手を大事にすること」。それは生きる力に繋がる。子ども達と過ごして嬉しかったことの積み重ねの中に、たくさんの学びがあり自分の人生が豊かになって、私自身いい経験が出来たなと思っています。また社会性のある職場だとも感じています。「人権を守る」と聞くと難しく聞こえるかもしれませんが、毎日の保育で子どもや保護者の気持ちを汲むことが「その人の人権を守ること・お互いを分かり合うこと」だと思っています。私も園長時代からいろんな失敗をしてきました。その中にもたくさんの学びがありました。悩みを共有しながら助け合いながら桃郷と一緒に頑張っていけたらと思っています。本日は一日ありがとうございました。

## ごあいさつ

月日の経つのは早いもので、つい先日巳年を迎えたかと思ったら、もう半年が過ぎました。

療育の現場では、年度が4月に始まります。当法人は児童発達支援センターを3か所運営し、発達につまずきのある乳幼児期のお子さんを対象に、療育・保育の場を提供しています。



通常は1センターあたり36名のお子さんをお預かりできますが、近年は30名から32名での受け入れとなっています。これは保育職員を確保できないという現場の大きな問題によるものです。今年度も6名のお子さんを受け入れることができませんでした。職員不足は全国的な課題ですが、「早期発見・早期療育対応」を目指す療育現場も含め、さらなる子育て支援策を求めていきたいものです。

保育所機能を持つ療育の現場では、入園式が終わると子どもも保護者も大忙しの日々が始まります。子どもたちは毎日、遊び、お散歩、給食、お昼寝、排泄と友だちとの楽しい時間を過ごし、保護者の方々は保護者会や学習会、懇談会などの年中行事に参加されます。

例年5月には各センターで「園の生い立ち」について話し合います。35年前に無認可運営を経て法人認可施設として誕生したこのセンターは、先輩保護者や関係者の方々の「願い」の結集を伝え続けています。今年度は特に、その「願い」が生まれた経緯について話し合いを進めました。そして、その「願い」を「和歌山方式」と呼ぶことにしました。

「和歌山方式」とは、以下の条件が整っていることを指します。

- ① 週5日間・1日6時間・親子分離での保育
- ② 「保護者学習会」への参加をすること

この和歌山方式について、他県から転入してきた方々からは「発達につまずきのある子どもへの配慮が充実していて、とても住みよい所である」との感想をいただきました。改めて、子どもたちのためにも自分たちのためにも、話し合いを重ね、「願い」を声にして伝えていくことの大切さを実感しました。

ここでは児童発達支援センターでの学習会をご紹介しましたが、児童発達支援事業においても同様の取り組みを行っています。6月からは家庭訪問、懇談会、進路学習会があり、子どもたちとは七夕祭や夕涼み会などの行事が目白押しです。法人役員もフル回転で参加します。

戦争を知らない私ですが、今年の誕生日で八十路を迎えます。6月には法人役員の任期改選があり、もう1期、理事長を務めさせていただくことになりました。「願い」はまだまだ湧いてきますが、忍び寄り老いも否めない現実です。皆様のお力をお借りしながら職務を全うできるよう、尽力してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 桃郷 理事長 船木 孝明



桃郷の理念



- ① すべての子どもたちが平等な権利を享受し、地域社会に参加できることを目指します。
- ② 保護者、家族、地域と共に学びあい、共に育ちあうことを目指します。
- ③ ひとり一人の子どもの発達を理解し、生活を通して豊かな人生を歩む基礎づくりを目指します。
- ④ 地域福祉の担い手として、地域ニーズに応える取り組みを実践します。
- ⑤ 保健、福祉、医療、教育、地域の皆様と手を取り合い、子どもを支える地域づくりを目指します。

# 発達講座 ⑭

## 指さしを発達的に捉えるとは？

つぼみ園 発達相談員 下地 咲紀

今回は、「指さし」を発達的な視点で捉えてみようと思います。発達心理学の世界において、指さしは「ことばの前のことば」とも呼ばれ、重要視されています。それはなぜでしょうか？指さしという行為は、生後10か月頃から出現することが多く、その背景には様々な発達の力とその繋がりを考えることができます。

まずは手指操作の発達です。赤ちゃんは、はじめのうちは手に触れたものを手全体でつかむことしかできませんが、おすわりが安定してくると両手が自由に使えるようになり、様々な物に手指を使って働きかけていく中で操作性が高まって、手指が分化していきます。生後10か月前後には、親指と人差し指で小さな物をつまむことが可能になり、指さしの形を作ることにも可能になります。この頃の赤ちゃんは、この1本指の形を作れることそのものが嬉しいようで、うちの姪っ子ちゃんも物を取る時や、人に働きかける時、程よい穴を発見した時に指を入れてみるなど、何をするにも人差し指を使っていました。赤ちゃんにとっては、それほど嬉しいことなのでしょう。

そして次に、対人関係や認知面の発達です。人間の赤ちゃんは、大人にお世話してもらったり、あやしかけてもらう中で、自分を安心させてくれる、心地よくしてくれる身近

な大人が大好きになり、二者の関係を深めていきます。その関係を土台にし、生後10か月頃になると、子どもは興味深いものを見つけると、その驚きや感動を大好きな大人に伝え、共有しようとはじめます。この「子ども—大人—対象」の結びつきを三項関係と呼びます。その時に伝える手段としてよく用いられるのが表情や指さしです。そして、そういった伝え合う関係の中で、指さしや視線の先に「何かある」と期待するようになるなど、対象を頭の中で思い浮かべることが可能になっていきます。

指さしは、指という「モノ」を使って、「別のモノ」を表すという構造で成り立っています。この指というモノを音や文字などの記号に置き換えると、そのまま言語によるコミュニケーションになるのです。だから指さしは「ことばの前のことば」と呼ばれ、言葉の育ちの土台として重要視されているのです。ですが、指さしは教え込みなどところどころでできるようになるものではありません。先ほど述べたように、まずは楽しい遊びや好きなことを大人と一緒に楽しみ、その面白さや楽しさを大人に共有してもらおう中で二者の関係を豊かにしていくことが大切です。そして、子どもと目の位置が近く、お互いの声が届き、指さしが伝わるくらいの距離感で、小道でのお散歩をするなど、ちよつとした新鮮な経験をする中で、何かを発見した面白さや嬉しさ、驚きなどの感動を共有（共感）しあうことをたっぷり豊かに経験していきたいですね。

# 社会福祉法人 桃郷

### ■ 児童発達支援センター

ひまわり園	〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月58番地3	☎0736-66-0995	📠0736-66-1905
つくしんぼ園	〒649-7207 和歌山県橋本市高野口町大野74番地1	☎0736-42-0100	📠0736-43-0200
つぼみ園	〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月736番地1	☎0736-66-0013	📠0736-66-0023

### ■ 児童発達支援事業

木の実教室	〒649-6236 和歌山県岩出市曾屋370番地17	☎0736-62-0815	📠0736-62-0856
くるみ教室	〒649-6246 和歌山県岩出市吉田228番地1	☎0736-67-7788	📠0736-67-7799
くまの子教室	〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺146番地2	☎090-3673-9958	

### ■ 多機能型事業所

あすなろつばさ	〒649-7112 和歌山県伊都郡かつらぎ町中飯降1062番地1	☎0736-23-2900	📠0736-23-2929
---------	----------------------------------	---------------	---------------

### ■ 放課後等デイサービス

青空	〒649-6427 和歌山県紀の川市西井阪224番地1	☎0736-77-0070	📠0736-77-0050
粉河青空	〒649-6531 和歌山県紀の川市粉河46番地	☎090-6969-4195	
青空つばさ	〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺146番地1	☎0736-22-5551	📠0736-22-5561

### ■ 相談支援事業所

桃郷障害児者相談支援センター			
	〒649-6222 和歌山県岩出市岡田649番地2	☎0736-67-8891	📠0736-67-8892
つくしんぼ相談支援室（つくしんぼ園に併設）			
	〒649-7207 和歌山県橋本市高野口町大野74番地1	☎0736-42-0100	📠0736-43-0200

### ■ 法人本部

事務局	〒649-6112 和歌山県紀の川市桃山町調月58番地3	☎0736-66-8851	📠0736-67-8851
-----	------------------------------	---------------	---------------

# 新規採用職員の自己紹介

## 田中 七生

☆所属 つばみ園 園長

☆趣味、好きなこと

読書・LIVEに行くこと・映画鑑賞

☆意気込み・抱負

慣れない環境で戸惑うこともありますが、今までの経験が活かせるように保育士さんと頑張っていきたいと思ひます。

## 名出 千陽

☆所属 ひまわり園 看護師兼児童指導員

☆趣味、好きなこと

雑貨屋巡り

☆意気込み・抱負

子どもたちが、ひまわり園でのびのびと楽しくすごせるよう気持ちをしっかり受け止めながら関わることを大切にしていきたいと思ひます。

## 畦倉 寧子

☆所属 つばみ園 児童指導員

☆趣味、好きなこと

旅行・映画鑑賞

☆意気込み・抱負

子ども達一人ひとりの個性を大切に、安心して過ごせるように頑張りたいです。そして信頼関係を築き、子ども達の成長に寄り添える指導員になりたいです。

## 山本 智佳

☆所属 つばみ園 保育士

☆趣味、好きなこと

押し活・推しの動画をみること

☆意気込み・抱負

今受け持っているグループの子や保護者の方はもちろん沢山のひとと出会い、出会った皆様の未来がいい方向へ、「ここに通わせてよかった」と思ってもらえるような支援が出来るようこれからいろんな事を学び1人でも多くの方の未来を明るく笑顔に出来るよう精一杯頑張りたいと思ひます。

## 増井 美帆

☆所属 つくしんぼ園 保育士

☆趣味、好きなこと

旅行に行くこと

☆意気込み・抱負

子どもが大好きなので、毎日子ども達と関われると思うととても嬉しいです。先生方を見習って早く一人前の保育士になれるよう頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

## 川崎 楓和

☆所属 つくしんぼ園 保育士

☆趣味、好きなこと

音楽鑑賞

☆意気込み・抱負

子どもと一緒に楽しいこと・嬉しいこと・頑張ることなど感じていきたいと思ひます。その中で子どもと共に成長していきたいです。先輩の先生方からたくさん学ばせていただき信頼していただける保育士を目指します。

## 高垣 夏美

☆所属 あすなる教室 保育士

☆趣味、好きなこと

美味しいものを食べること。

☆意気込み・抱負

毎日笑顔で、子どもたちと向き合える保育士！を心掛けたいです。

## 若林 道子

☆所属 桃郷障害児者相談支援センター  
相談員・保健師

☆趣味、好きなこと

ガーデニング・家庭菜園

☆意気込み・抱負

前職の経験を活かし、保護者の方と子どもさんの成長を共に喜び合えるような相談支援ができるよう頑張ります。

## 渡邊 雄介

☆所属 法人事務局

☆趣味、好きなこと

ピアノを弾くこと、一人旅

☆意気込み・抱負

事務職員として、子どもたちや保護者だけでなく、職員の方も安心して働くことのできる環境づくりができるよう、努めてまいります。よろしくお願ひ致します。

### 編集後記

今年の夏は、ひとときわ敵しい暑さが続いています。そんな中、事務局では、プールではしゃぐ子どもたちの元気な声が響き渡り、私も日々元気をもらっています。今号では、ひまわり園での案山子づくり、そして、若手職員の座談会をピックアップして紹介させていただきました。子どもたちが、お父さん・お母さんと一緒に汗を流しながら作った案山子は、たくさん個性や工夫が光り、魅力的な仕上がりとまりました。若手職員の座談会では、それぞれが日々の業務の中で感じているやりがいや悩みを共有し、自分にとっての仕事のモチベーションアップにつながる、貴重な一日となりました。本誌の発行にご協力いただいた皆様、そして手にとってくださいました皆様、本当にありがとうございます。今後も、桃郷の楽しい日々を届けていきたいと思ひます。

(渡邊)


**第21回桃郷まつり**


2025年11月8日 開催予定!

※場所・時間など詳細は決定次第ホームページにてお知らせします♪